



図書館だより 11月号

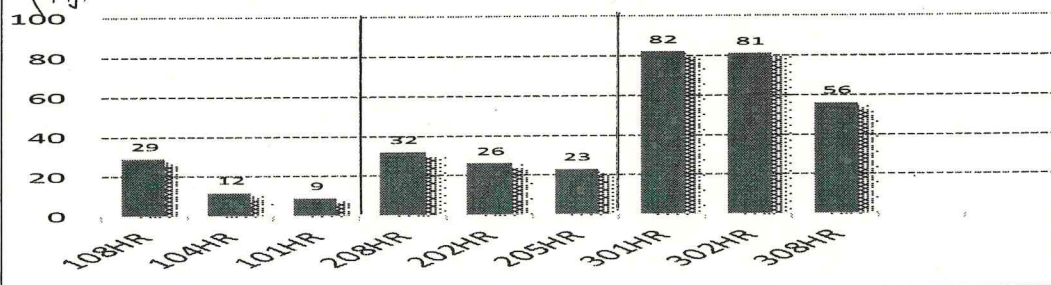
徳島北高等学校図書委員会

「後期図書委員長あいさつ」 201HR 山崎 蒼生

北高読書週間のプレゼントに、図書委員手作りのしおりを心を込めて作りました。使っていただけると嬉しいです。10月22日(月)に37名が集まって実施した「読書会」では、「ハロウィン」を題材に書かれた本の紹介をしたり、各国のハロウィンの歴史等調べたことをまとめて発表し、展示物も作成したりしました。他には小論文対策テーマ別推薦図書展示や8月に亡くなったさくらももこさんの作品展示もしています。まだしばらく展示していますので、ぜひ見てください。

クリスマスの本の展示もする予定です。楽しい図書館になっていくこと間違いなしです。自分にあった本をぜひ見つけに来てください。

(冊) 学年別クラス別貸出冊数BEST3(9・10月)



メッセージ

「ホッと一息 本と一息」：本年度の読書週間の標語です。
北高読書週間の目標：「2冊以上本を読み、世界を広げよう！」

一日の生活の中に読書(新聞含)の時間はありますか？
読書週間の期間(~11/9金)は、しおり・雑誌をプレゼントしていますので図書館へも足を運び、多くの本と出会ってください。



図書委員のおすすめ本

『流星の絆』 東野圭吾 著 202HR 南 翔太

東野圭吾のサスペンス小説である。幼い頃に何者かに両親を殺された三人兄弟が、大人になってその犯人を捜して復讐するという内容である。両親を殺された三兄弟の悲しみや残された子供達の努力して生きていく様が感じ取れる。結末が知りたくて読み続けていくような作品である。

『億男』 川村元氣 著 202HR 柳澤 蓮

私が紹介したい本は、最近映画化された『億男』という本です。宝くじで3億円を当てた図書館司書の一男は、大富豪となった親友の九十九のもとを訪ねます。しかしその直後、九十九が3億円とともに失踪します。一男のお金をめぐる30日間の冒険が始まります。とても面白いので、ぜひ読んでください。

『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』 七月隆文 著 203HR 坂田愛莉

この話は、主人公が一目惚れした女性との恋愛ストーリーです。初めてのデート、初めて手をつなぐ、初めて名前呼び合う……、そんな初めてのことがある度涙を流す彼女。不思議な彼女が言った「あなたの未来がわかるって言ったらどうする?」。その言葉の意味に感動する小説なので、ぜひ読んでみてください。

ビブリオバトルの報告(校内・県大会)

10月1日(月)16:00から図書館で実施したビブリオバトル校内予選では、2年生の前川英輝さんが紹介した『農業からあらゆる産業をIoTでつなぎまくる、NTTドコモアグリガールの突破力』がチャンプ本に選ばれました。5名の発表者を含む合計52名の生徒・先生方が観戦者として参加しました。5名がお気に入りの本への思いを熱く語ってくれました。「本をとおして人を知る、人をとおして本を知る」思いのもと、本について深く語り合った時間でした。

10月28日(日)に県立総合教育センターで実施された県大会では、惜しくも敗れましたが、堂々と本への思いを伝えてくれました。来年度も、より多くの皆さんで盛り上げてください。

